

## 令和7年度 第3回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和7年9月3日（水） 13時30分～16時30分
2. 場 所：アイパル香川（香川国際交流会館） 3階 第5、6会議室
3. 出席者：委員（敬称略）
  - 委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）
  - 副委員長 末永 慶寛（香川大学創造工学部 教授・学部長）
  - 委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）
  - 池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）
  - 福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）
  - 玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（委員6名出席）

### 4. 議 事

#### (1) 事後評価対象計画

下記の7計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- ① 社会資本総合整備計画 香川県沿岸地域における地震・津波に強い海岸づくり  
（防災・安全） [事業主体：香川県]
- ② 社会資本総合整備計画 坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）  
[事業主体：坂出市]
- ③ 社会資本総合整備計画 長寿命化計画策定事業 [事業主体：小豆島町]
- ④ 社会資本総合整備計画 香川県における住宅・建築物の安全性の向上（第3期）  
（防災・安全）（重点計画） [事業主体：香川県他12市町]
- ⑤ 農山漁村地域整備計画 香川県塩飽海域における水域環境保全と水産資源の  
維持・増大のための漁場整備計画 [事業主体：香川県]
- ⑥ 農山漁村地域整備計画 高松市の漁港における海岸耐震性能調査の推進  
[事業主体：高松市]
- ⑦ 港整備推進交付金計画 未来の元気な小豆島にむけてのみなとづくり計画  
[事業主体：小豆島町]

#### (2) 事業別審議結果

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号①②③⑤⑦において、「一定の効果があった」、計画番号④⑥において、「十分な効果があった」と事業主体が評価したこと、また計画番号①②④において「継続する」としたことについて「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ 引き続き「地震津波対策事業」のⅡ期・Ⅲ期の目標を目指して頑張っていたきたい。(事後評価①)
- ・ 坂出市にとって重要な施設が守られるよう、西ふ頭・西運河地区の令和10年度整備完了に向けて頑張っていたきたい。(事業評価②)
- ・ 藻場の整備について、効率的な人工藻礁配置の研究に取り組まれていることは、非常に重要。知見を増やして応用していただきたい。(事後評価⑤)
- ・ 定量的指標には、事業実施との因果関係がわかりやすい指標を用いて評価するよう検討していただきたい。(事後評価⑦)

— 以上 —